

留学を終えて

長良高等学校 丸井 堪太（ニュージーランド）

まずニュージーランドでの生活を振り返ってみて初めに思うのはとても楽しかったという気持ちでいっぱいです。

振り返れば、留学前はニュージーランドでの生活はどうなるのか、戻ってきたら勉強はどうなるのかなど色々な不安がありました。細かく言うならばご飯のことやホストファミリーのことや友人関係のことなど例を出すならきりはありません。それでも留学を決意したのは日本以外の国を知りたいという気持ちや将来選択の幅を広げるためにも英語や海外の文化について学びたいという強い気持ちがあったからです

実際に留学が始まってみると留学前の不安が嘘かのように充実していました。まず私はニュージーランドの空港で留学の会社の人に会ったのですがまだ全然英語は喋れなかったけど優しく接してくれました。その後ホストファミリーにあったのですが最初から息子のようにかわいがってくれ、最後のお別れの時まで精一杯、十分すぎるほど私の世話をしてくれました。またご飯も毎日ホストマザーが作ってくれていたのですが、味がおいしいのはもちろん毎日満足いくまでおかわりさせてくれ元気の源でした。このホストファミリーには今も感謝の気持ちでいっぱいです。次に友達についてで、第一にみんながフレンドリーでした。正直最初のほうは会話もままならなかったけどずっと気にかけてくれたりしてくれました。最後のほうは学校に行くのが楽しみになっていたぐらいみんな面白く優しくかったです。また私はスポーツが好きなのでよりみんなと仲良くなれたと思います。何かしらのスポーツと一緒にすることでより本音で近い距離で関わられてたと感じました。

次に英語について話します。私は留学中特に勉強はしませんでした。ホストファミリーと映画を見たり現地の友達とスナップチャットというアプリを使い電話したりメールすることばかりしていました。正直話が通じなくて何度も聞き返したりすることもあったけどその回数も0まではいかないものの少しずつですが減っていきました。ただ本気で英語が流ちょうになりたいなら勉強はすべきだと思います。私は現地の友達と楽しく会話はできるものの英語力としてはまだネイティブスピーカーの英語ではなく日本語英語だなと感じています。日本語英語の発音を変えるには相当の努力が必要だと感じます。

次に留学を通じて、日本と海外の違いが学べたと思います。例えば人々の性格です。ニュージーランドの人はとても話しかけてくれたりします。日本では気を遣ってしまいなかなか話しかけるのは難しいです。それぞれにそれぞれの良さがありとても面白いです。また海外同士で比べてみると、ニュージーランドでは一切人種差別がなかったのですが、アメリカではよくあると聞くのでそれも違いだなと感じました。

最後にこの交換留学を応援しサポートしてくれた多くの人たち、またニュージーランド

で出会ったたくさんの方々すべての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。